

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正 5 件、国保会計・老人保健会計・介護保険会計・戸別合併処理浄化槽会計・簡易水道事業会計の各補正予算 5 件の計10件について審査を行った。

審査の中で、国民健康保険税条例の一部改正では、国保税の納期を 6 期から 8 期に改正した場合の収納率の見込みやメリット等について。国保会計補正予算では、人間ドックのこれまでの補助対象者及び実績等や平成18年度新規事業であるミニドック検診の内容や補助等について。

合併処理浄化槽特別会計補正予算では、委託料、工事請負費の減額理由や加入実績・戸数等について質疑が行われ、国民健康保険条例及び介護保険条例の一部改正については、賛成者多数。その他 8 議案については全会一致で原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	高木 将	副委員長	山口 恒男
委員	酒井 勝	宮本 昭	益子 寿
	宇野 隆子	須藤 健志	綿引 義明
	和田 輝正	椎名 久寿	荒井 康夫
	田尻 求士	関 英喜	菊池 伸也
	高星 勝幸	平山 晶邦	深谷 秀峰

建設委員会

建設委員会では、条例の一部改正 1 件、下水道事業会計・農業集落排水事業会計・宅地分譲事業会計の各補正予算 3 件の計 4 件について審査を行った。

審査の中で、下水道事業特別会計補正予算では、国庫補助金・繰入金・市債のそれぞれの減額理由や繰越明許費の内容について。農業集落排水事業特別会計補正予算では、事業費の減額理由や地方債の補正について。宅地分譲事業会計補正予算では、一般会計からの繰出金の減額理由等について質疑が行われ、付託された4議案を原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	後藤 守	副委員長	沢畠 亮
委員	木村 徳二	天木 元	萩谷 俊昭
	平山 英	斎藤 三郎	平根喜八郎
	綿引 猛始	堀江 欣寿	山本 昌
	小田部 功	木村 茂男	井上 清一
	興野 勉	金沢 広道	

総務委員会

総務委員会では、条例の制定 3 件、条例の一部改正 7 件、茨城県市町村総合事務組合の組織の減少 1 件、規約の一部改正 1 件、一般会計予算(第 6 号)の13件について審査を行った。

審査の中で、移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の制定では、設計委託や工事等の内容について。国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例では、緊急対処事態時の市の対応、職員の配置さらに組織等について。国民保護協議会条例の制定では協議会の委員構成や専門委員の配置等について。職員の給与に関する条例の一部改正では、勤務評価の方法や職員の士気高揚策等について質疑が行われ、付託された13議案を原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	黒沢 義久	副委員長	立原 正一
委員	藤田 五郎	小祝 隆雄	小林 信房
	成井 一夫	生田目久夫	岩間 国高
	川上 和衛	岩間 成行	小林 一三
	吉成 和昭	井坂 勝安	茅根 猛
	石崎 拓也	石山 良春	福地 正文

産業水道委員会

産業水道委員会では、条例の一部改正 9 件、条例の廃止 1 件、水道事業会計・工業用水道会計補正予算それぞれ 1 件、請願第 1 号森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める請願以上13件について審査を行った。

常陸太田市西金砂そばの郷、西金砂湯けむりの郷及び物産センターこめ工房の設管条例の一部改正では、豆腐工房の設置理由や新たな商品開発、販売先の開拓や青大豆の生産拡大等の考え方について質疑が行われた。また、その他の議案については、指定管理者の指定に關しての条例改正等によるもので、特に異議がなく付託された12議案を原案可決すべきものと決定した。また、請願第 1 号については、採択すべきものと決定し、議員提案として、意見書を提出することとした。(意見書は、23 ページに掲載)

【委員会構成】

委員長	宮田 欣三	副委員長	梶山 昭一
委員	平山 伝	井上 正重	吉村 誠
	片野 宗隆	中嶋 満	永井 猛
	矢部 正心	小林 英機	川又 照雄
	成井小太郎	大森 康多	田所 美朗
	豊田 吉三	益子 慎哉	

常任委員会の審査から